



中央地区社会教育情報誌「つなぐ」No.56号をお届けします。

54号から、県教育庁生涯学習課の中央地区における取組と中央地区9市町村が今年度重点事項として取り組んだ事業等について紹介しております。今回の56号では、県教育庁生涯学習課・潟上市・男鹿市・八郎潟町の取組を紹介します。

生涯学習課

中央地区市町村教育委員会計画訪問

昨年10月下旬から12月上旬にかけて、中央地区9市町村教育委員会の生涯学習・社会教育主管課室を、県生涯学習課中央地区担当者が訪問させていただきました。各市町村の今年度の取組の成果や課題等をお聞きするとともに、各市町村の協議題について意見交換をしました。

初めに各市町村から事業計画の遂行状況や中央地区社会教育の重点

- ①学びを支える体制の整備
- ②学びを進める計画の遂行
- ③学びを広げる機会の充実

④学校・家庭・地域の連携・協働の推進に係る取組状況を細かくお聞きしたところ、成果と課題をしっかりと把握、分析してその改善策を考えている様子をうかがうことができました。

また、各市町村から提示された協議題は次のとおりでした。



【「市町村計画訪問 協議」の様子】

市町村	協議題	協議の具体
秋田市	住民の願いに応える、学びの場の育成	若年層に向けた効果的な情報発信 等
男鹿市	地域課題や現代的課題を意識した学習機会の充実	新たな指導者の発掘・育成及びサークル化の推進 等
潟上市	地域課題や現代的課題を意識した学習機会の充実	ICT環境の整備 等
五城目町	他地域との交流・連携の推進	生涯学習奨励員等の人材育成 等
八郎潟町	住民の願いに応える、学びの場の育成	住民ニーズを反映させた事業や講座の開設 等
井川町	住民の願いに応える、学びの場の育成	より町民全体に応じたアプローチ 等
大潟村	地域の生涯学習・社会教育を支える体制の整備と人材の育成	地域学校協働活動推進員の育成 等
由利本荘市	SNSを活用した情報発信	若い世代を巻きこみながら、広く周知する効果的な方法 等
にかほ市	具体的かつ客観的な評価システムの整備	現在の業務に生きる評価作業 等

どれも各市町村が実際に取り組んでいるからこそその悩みであり、もっとよりよくしたいという切実な思いがひしひしと伝わってくる有意義な協議でした。

関係機関等の参考資料を提供したり、アドバイスをさせていただいたりしましたが、今後も各市町村の実情や考え方に沿って一步一步取組を進めていってほしいと思います。

潟上市

「地域の憩いの場を目指して」

潟上市では、世代間の交流や、生涯学習社会の実現を目指して様々な講座を企画しています。うたごえ広場は、先生のピアノ伴奏に合わせて思い思いに懐かしの歌を時間いっぱい歌います。大きな声を出すことで、健康増進はもちろん、ストレスの発散につながっています。講座終了後のみなさんの笑顔が印象的

な講座となっています。

アクティブ脳トレ講座は、70代以上の方が最も多く人気の講座となっています。ステージ上に設置されたスクリーンには鮮やかな色の文字や数字が映し出され、瞬時に読み取ります。時には早口言葉に挑戦することもあります。様々な種類の脳トレにみんなで一緒に取り組み、頭を使いながら、それぞれ記憶力の衰え防止や認知症予防に役立っています。

上記の講座の他、日中の講座に参加できない方を対象に「夜のヨガ教室」を開催しました。日中の教室に比べ若い方の参加が多く、「仕事帰りに体を動かしてよかった」という声が多数寄せられました。

今後も人と人をつなぐきっかけとなるような講座の企画、気軽に立ち寄り、語り合える場として地域の拠点施設となるようお手伝いしてまいります。



【「夜のヨガ教室」の様子】

男鹿市

「e スポーツ始めました」

男鹿市では今年度から、4か所の公民館・コミュニティセンターにeスポーツを導入しています。国際大会も開かれるほどのeスポーツですが、まずは、簡単な運動や頭の体操を年代など問わずに楽しめるように、家庭用ゲーム機を使った太鼓のゲームとスポーツのゲームを取り入れました。

職員も初めての試みだったため、自主練習や合同練習を重ねた後、講座やサークル活動で来館する方に体験してもらうことから始めました。最初は慣れない操作に戸惑っていた方々も、最後には、やってみたら楽しいと笑顔いっぱいになっています。

今年は、まず楽しさを知ってもらうことを目的に、館での体験や講座の他に、町内会館や地域のお寺等への出張や、中学生と一緒に体験会を行うなど、各館で趣向をこらした活動をしています。

インターネットからの情報を得ることができないことから生じる情報格差を防ぐための一歩として、デジタルへの苦手意識を取り払うことを目的に始めたeスポーツ事業。これから成長する事業として、「やってみたら楽しい」ことを伝える仕掛けを考えながら、より多くの方に活動を届けていきます。



【「e スポーツ事業」の様子】

八郎潟町

「親子体験教室」

八郎潟町公民館では、冬休み中に親子で日本の文化に触れたり、物づくりの楽しさや完成させる喜びを味わったりしてほしいという願いから、年末に「親子ミニ門松アレンジメント教室」、年明けに「親子生け花教室」を開催しました。



【「親子生け花教室」の様子】

最近、門松も見かけなくなりましたが、門松を飾る由来を聞いたり、生け花の作法を教えてもらったりしたことで、新たな学びにつながる機会となりました。親子で花材を選んだり、花の種類を調べたりしながら会話も弾み、集中して取り組む小中学生と、子どもの発想を尊重し見守る保護者の姿が印象的でした。自分の作品が、講師の先生や他の参加者から褒められると子どもたちはみんなニコニコ顔になり自己肯定感がアップ！そのような我が子の姿を見て、保護者も笑顔になり、素敵な作品を完成させていました。

子どもの心身の発達には、自然体験や、人や物、様々な事象と触れ合う直接的な関わりが必要不可欠ですが、最近は実体験の機会が少なくなり、ゲームや動画視聴中心の時間が増え、ネット利用の低年齢化も問題になっています。

今回の教室では、「見る、聞く、選ぶ、考える」などの、集中力や創意工夫する力など成長に必要な力が育まれ、豊かな心の育成につながることを感じました。

今後も、子どもたちの自己肯定感の育ちや、親子の思い出の一コマになるような事業を企画していきたいと思います。